

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学専門演習Ⅲ		必修	2	4	前期 (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
鈴木 真吾	B309	shsuzuki		水曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p><目的>自分自身が目指す将来像を心理専門職と定めた学生に対して、心理学の基礎・専門知識の広範な定着及び論述・表出の能力を修得させる。また、心理学分野の英語論文を単独で読解できる水準まで言語文化の理解・表出の能力も獲得させる。さらに、国内外の心理学系文献を精読して卒業論文の予備研究を遂行させる。総じて、心理専門職としてのキャリアイメージの洗練を促し、心理系大学院に進学できるように必要な見識・技術を身につけることを目的とする。</p> <p><概要>「心理学知識 (基礎・専門)、心理英語、卒業論文の準備、大学院進学に必要な情報精査」について、全てを同時並行的に、担当教員に指導を仰ぎながら取り組む。全ての回で指導内容として、予習を前提とし、担当教員とのディスカッションを活発に行い、大学院進学に備えたプレゼンテーションが伴うものとなる。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク
学習上の助言	「覚えるための見識ではなく、発揮する (実用する) ための見識」を学びの指針として、自己成長がキャリア発達につながる向上心を常に保持することを期待する。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配布する。				
参考書	特になし。				
外部教材	特になし。				

学生が達成すべき行動目標

関連卒業認定・学位授与方針

①	心理学に関する基礎・専門的な理論や知識について理解し、説明できる。	HC (5)
②	心理学の見識を活かし、国内外の英語論文を読解できる。	HC (5)
③	心理学の見識を活かし、自らの研究テーマを立案できる。	HC (5)
④	心理学と職業とのつながりを広範に理解でき、自らのキャリアイメージを構築できる。	HC (4)

授 業 計 画

回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)
1	心理学知識 (基礎・専門)、心理英語、卒業論文の準備、大学院進学に必要な情報精査に取り組む。	講義・演習 反転授業 プレゼンテーション ディスカッション ディベート	4
2			4
3			4
4			4
5			4
6			4
7			4
8			4
9			4
10			4
11			4
12			4
13			4
14			4
15			4

事前に担当教員と打ち合わせた予習を終えて持参する。随時、定着のための復習を自発的に行う。

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

試	評価のポイント参照		
---	-----------	--	--

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	0	0	100	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	50	50
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	10	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	20	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	心理学知識（基礎・専門）、心理英語、卒業論文の準備、大学院進学に必要な情報精査への取り組みを総合的に評価する。	各回の演習内にて指導コメントを行い、次に取り組むべき課題（予習）に関して打ち合わせを行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			

備 考	
他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	臨床心理士及び公認心理師資格を有し、21年の心理相談業務の経験がある。
実践的授業の内容	医療（精神神経科・小児科）及び教育（スクールカウンセラー・発達への特別支援）、犯罪・司法（犯罪事例の心理分析・コンサルタント）の現場経験を活かして、心理系大学院進学に資する水準の指導を学生に提供する。
そ の 他	本科目の履修登録は学科内の許可制である。「福祉心理学専門演習Ⅰ・Ⅱ（心理）」の単位取得者のみ履修を認める。 大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。従わない場合は面接授業の参加を認めない場合もある。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われる場合もある。